

## 会議録

会議の名称	令和5年度第2回ふじみ野市資料館運営協議会会議			
開催日時	令和5年10月16日(月) 開会時刻 午後4時00分 閉会時刻 午後5時55分			
開催場所	ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館 研修室			
出席した者の氏名 (委員7人中6人出席)	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	三上 栄一	主幹兼 資料館長	高崎 直成
	副委員長	比嘉 洋子	副主幹兼 管理係長	橋本 鶴人
	委員	山本 雅敏	主任	関口 正幸
	委員	古川 雄大	主任	塩田 達也
	委員	中里 美子		
	委員	折原 喜美子		
会議の議題	(1)大井郷土資料館大規模改修工事について ①改修工事のスケジュールについて説明 ②新資料館のコンセプトについての説明とリ ニューアル内容についての意見聴取 ●展示・体験学習・資料活用・市民参加・歴史 ・文化の慶州などについてのアイデア (2)その他			
会議の公開又は非公開の別	公開 <del>・</del> 非公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0人			
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	教育部社会教育課上福岡歴史民俗資料館			
議事の確定	確定年月日	令和6年1月 日		
	記名押印	役職名 委員長 三上 栄一 ㊟		

## 発 言 の 要 旨

発言者	発言の要旨
司会 (館長)	<p>皆さん、こんにちは。本日、宮下委員から欠席の連絡を受けておりますので、出席予定の委員は全員お揃いになりました。定刻前ではございますが、只今から資料館運営協議会を開催させていただきます。本日は公私ともお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。資料館長を拝命しております高崎と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>ふじみ野市では、「ふじみ野市の審議会等の会議の公開に関する規則」に基づき、市民に積極的に情報や会議の公開を進めております。本会議も公開対象となっておりますのでご了承下さい。</p> <p>本日の出席委員は、6名です。</p> <p>ふじみ野市資料館運営協議会規則第5条第2項の規定により、委員の出席が過半数以上の要件を満たしておりますので、会議の成立を認め、只今から令和5年度第2回ふじみ野市資料館運営協議会の会議を開会いたします。</p> <p>なお、本日会議の傍聴者の方はいらっしゃいません。議事に入る前に、本日の配布資料の確認をいたします。</p> <p>(配布資料の説明) (次第及び資料1～3等)</p> <p>それでは、議事進行を委員長にお願いしたいと思います。</p>
三上委員長	<p>皆さん、こんにちは。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。美しい文字より真実の文字という感じで、資料館も美しいものより本物を見た方がいいということです。大井郷土資料館の大規模改修工事ということでここにいる委員さんが初めてレールをひいていくということで、本日は、貴重な意見を出していただく重要な会議になると思います。今日は、どうぞよろしくお願いいたします。やはりちゃんとした館というか場所があるのも今後の発展のためには必要ではなかと思うわけです。去年に比べだいぶ明るい話が見えてきました。</p> <p>最初に、大規模改修について事務局から説明をお願いします。</p>
高崎館長	<p>それでは、事務局の方から大規模改修工事の説明をさせていただきます。</p> <p>大井図書館がステラ・ウェストに移転し11月4日にオープンします。大井図書館のスペースが空きますので、そのスペースも利用して大井郷土資料館のリニューアル改修工事とすることにいたしました。ふじみ野市は令和7年に合併20年を迎えますけれども、大井郷土資料館、上福岡歴史民俗資料館2つの資料館を1つの資料館として統合し、ふじみ野市の新資料館として動き出すことになりました。統合につきましては、5月25日の資料館運</p>

営協議会でも望ましいのではないかという意見をいただき、文化財保護審議会で資料館の統合について6月2日に諮問し6月22日に資料館の統合が望ましいという答申をいただきました。それをもちまして社会教育委員会議並びに教育委員会議に報告いたしました。リニューアル工事につきましては、9月議会へ大井郷土資料館の設計費用を計上し可決しました。

お手持ちの資料A3のスケジュール表をご覧ください。今月中に大井郷土資料館から資料を全て旧商工会館へ移します。

展示に関しては、川越街道、大井宿に関する展示を大井小学校の敷地内にあります旧大井村役場の1階を10月1日から展示室として開館しております。月曜日を休館日とし、火曜日から日曜日まで9時から4時半まで開館し、受付にはシルバー人材センターの方々に来ていただいて、解説もしてもらっています。

次に資料館設計につきましては、入札を行ないまして、来年度、令和7年度まで約14ヵ月掛けて設計業務を行います。設計業務につきましては、基本設計と実施設計があります。令和7年の1月まで行ない、設計費用に基づきまして、予定では、令和7年の7月ごろに改修工事をはじめます。この建物は、昭和63年に建てられた建物ですので、外装、天井であるとか、雨漏り、空調、壁や床そういったものを全てかえていく工事になりますけれども、やはり資料館でございますのでメインとなる工事は、展示関係の工事になります。この展示関係の工事というのは、業務委託という形で令和6年度から行うことになっているのですけれども、展示の委託をどういうふうにやっていくかというのは、これから決めていきます。

展示の内容を決めてから実施設計をしなくてはいけないので基本設計と展示設計が重なるように予定を組んでおります。大まかなスケジュールは以上であります。

全体のスケジュールについては、変更があるかもしれませんのでその都度報告してまいります。

次に展示に関するコンセプトについて説明します。収蔵展示とか体験講座、郷土学習のきっかけとしてお子さん達のふるさとふじみ野がどういうものか、農業でどういったものを作っていたとか体験を通して学んでいってもらいたい。市民ボランティアにより展示とか企画展示とかが出来るようなかたちで資料館が利用出来るような場所になっていければというコンセプトであります。県指定文化財がふじみ野市にはありますので、北武蔵野の畑作用具による農業体験が出来る。織り体験、藍染、土器づくり、たらいを使った洗濯とかを実際に行ってみようとか、着物や甲冑なども用意して着てみようとか、いつでも体験ができる場所というふうに考えています。

ふじみ野市の成り立ちは自然環境というところから始まります。地形は、歴史の土台となっています。簡単にいうと低地と台地というのが、ふじみ野市の地形の特徴であります。この低地は縄文時代、海がここまで来ていた。それによって貝塚ができ集落が発

展し、そこから川という交通路を使って埴輪や板碑を運搬し、江戸時代になりますと新河岸川船運というかたちで発展してきました。ただ、明治の大洪水による河川改修や鉄道の発展によって川での運搬がすたれます。台地は、縄文集落であるとか太田道灌とか北条氏にかけての時代の開発で発展し、江戸時代に川越街道の整備で大井宿が栄えます。川越街道と新河岸川舟運が合わさって発展してきましたが、明治になると鉄道という新たな手段によって今のふじみ野市に発展していく、そのような流れを展示で表わせればと思っております。その展示の手段としては、一番分かりやすいのは、模型と映像です。地形も様々な時代とかをプロジェクションマッピングで理解出来るような展示室を考えています。舟運とか街道の体験映像、火工廠の模型に市役所やイオンタウンの現在の姿を投影する、洪水被害等を映像体験できるように考えています。

こういった映像はスマホでも手軽に撮れるようになっております。プロが制作した映像だけではなくて、市民の方が作った映像も映せるようになる。

亀久保小学校の子がコロナの影響で修学旅行に行けないので、市の施設をまわるといことで、この歴史民俗資料館に来ました。その時、福岡の舟運と権現山について2本のビデオを製作してもらいました。ナレーションとかカメラ撮影と人形の動作をやってもらったのですけれども、今後は、シナリオなども書いてもらって、みんなの作ったものですよとお披露目すると市民がより一層歴史文化を学んで発表していく場に来るのではないかと考えています。そういったものを発表できる場所というふうに思っています。

市民交流ギャラリーというのは、子供達の昔あそびの体験、お手玉であるとか竹トンボであるとか遊びの道具を揃えて、他にも縄文土器の遊びの道具を揃えて子ども達の遊びが体験できるような場所にしていきたい。ロビー講座室、ギャラリー企画展室というのは、市民が発表する場が少ないという声を聴いておりますので、そういう時に使いたい。パーテーションによって講座室と仕切るようにしてロビーを多くとったりギャラリーを多くとったり企画展等をやっている時には、同じところでできるように、100人とか呼ぶ講座は、こちらでおこないたい。小学生が来た時には、100人ぐらいは入れるスペースがほしいということでしたのでこちらについてもこのギャラリーと前のロビーを使えば100人ぐらいは入るスペースはとっていけると考えています。大まかな説明は、以上でございます。コンセプトに対しては委員の皆さんのご意見を伺いたい。

この場ですぐというのは、難しいので次回あるいは、ご意見があった時点でも結構です。

三上委員長

今回、意見が出なくても、もう一回検討の余地があります。委員の皆さんよろしいですか。

折原委員	体験学習というのは、どれくらいの大きさの部屋ですか。
高崎館長	今の大井郷土資料館の研修室と同じくらいです。
折原委員	そこで、機織り体験やほうきづくり、水引の会と入っていますが出来るのでしょうか。
高崎館長	今の大井郷土資料館と同じようにやれるようになります。
折原委員	展示室となっていますけれども体験学習も出来るのですか。
高崎館長	展示室とありますが、体験も考えていますので子供の体験学習として使っていくようにします。
三上委員長	前回の5月25日の会議で校長先生の方から最低でも部屋の広さは、40人～100人の場所を確保してほしいとのことでしたが、このことについてちゃんとしておこななくても大丈夫ですか。
高崎館長	ギャラリーと体験の部分とロビーを使うと今、上にある研修室の部分の面積と遜色ないと思います。
三上委員長	そうすると最低でも40人、40人以上は入れればよいとその辺は、大丈夫ですね、あと調理をして火を使うという希望が出ていましたがその辺は、どうですか。
中里委員	資料館で煮炊きをする資料館で昔の料理をして、昔こういうものを作っていたのだよとかこういうものを食べていたのだよとかそういうものが必要だと思います。今は、上福岡、大井の施設も火を焚くところはありません。そういうものの学習についてどのように考えているのかと思っています。 食べ物の伝承だけではなくても土器を素焼きして、火を使って焼く場所だって必要です。土器作りを子供達にやらせたい。以前この裏の草むらだったところに穴を掘って火を焚いてどんぐりを拾ってきてということをやりました。だから、そういう場所を作ってほしいです。屋内でもいいのでそういう館をつくれればいいのです。機織り部会から言わせてもらおうと草木染めというのをやっています。そういうものの火を使って色付けをしたりするのに湯を沸かす火が必要になります、それは、ぜひ考えてほしいと思います。絶対に必要だと思います。
高崎館長	火ですけど、温めるだけならIHとかで大丈夫ではないですか。
中里委員	ステラ・イーストでそこで揃えて下さったのですが、実際に

	<p>I Hを使ってやってみたのですが火力が違うので無理です。お湯を沸かすだけならいいのですが、草木染めで糸を煮炊きするのは、その材料を煮詰める訳です。20、30分煮詰めるときの火力が必要で弱い火で長時間煮ても芯から色を抽出することが出来ない。早く言えば火力が必要です。</p>
高崎館長	<p>設計段階で検討してまいります。</p>
三上委員長	<p>前回、山本先生から小学校で習ったことが今の生活に役立っているか、展覧会で分かるように授業をやっていきたい。中学校で習った知識が生活の中で何に役立っているのか結びつけたい。</p>
山本委員	<p>体験学習としてどこまでお金を掛けられるかというものもありますけれど、今の子供達はパソコンとかゲーム機を使っているのでハードルは低いかなと思いました。低いところから高いところに行くというほうが、きっかけづくりとしてある意味、現代型の体験学習もあるのかなと思います。昔のものが一緒に出来るというのがいいのかなと思いました。</p>
三上委員長	<p>前回の会議では、古川委員さんは、きっかけづくりがある意味大切じゃないかと思うという意見でした。今回は、いかがですか。</p>
古川委員	<p>体験したり、ものに触れたりして初めて、理解につながっていく。やはり手で触れたり、現地を見に行ったりしてはじめて学習が成り立つので、きっかけづくりが課題だと思いました。きっかけということであればご説明があったような点が課題だと思いますが、私は、社会を教えているのですけれどもこういう活字とか資料を読み込みながらイメージは出来るのですけれども、少しでも体験的なことが出来ればいいかなと思います。ふじみ野市の歩みというかふじみ野市がどういう歴史をたどってここにたどり着いているのか、5、6年生になると全国を日本史として歴史を学びますけれども、3、4年生の社会の導入って、郷土なのですよ。私達の住む町とかどう息づいてきたのかということ、一番は、体験とか出向いてみて聞いてとかだと思っています。休みの日とかにお父さんとお母さんに連れていかれてこういうところに行くというより、もっと学校全体でクラスとかで活用できるようなスペースとか、さっきの話を聞いていると舟運とかVRで体験したり権現山なんかも行ったりして自分も社会の授業で使えそうだなと思うし、子供達にとっても楽しそうだなと感じました。</p>
中里委員	<p>さっき館長が言われましたビデオ。亀久保小学校の生徒がつくったビデオはとてもいいですね。ここでもステラ・イーストでも流れていますし、あれを資料館でも小さいものではなくてあのくらいの大画面で見られるようになるといいですね。今、先生が</p>

	<p>言われたようなことがあれに全て入っています。あの大画面のものをもってきて実際に体験出来ればいいと思います。</p>
高崎館長	<p>大画面で映写する場所としては、大井図書館の入ったところの正面に武蔵野絵図という陶板画がありますが、あそこにプロローグとして資料館を短い映像で紹介できるものを流すというのを考えています。</p>
中里委員	<p>資料館に携わっている人は知っていると思いますが、このあいだコーラスの人達と少し見たのですが、大人でもあんなのがあったのかこんなのがあったのということでもっていいなと思います。</p>
比嘉委員	<p>土器づくりをやっていましたが、今は、富士見市に行って焼いている。鶴ヶ岡野活が使えたから大井で出来ていたのですが、住宅になってしまったので、今は水子貝塚を使って焼いています。出来たら大井でやれたらうれしです。でも大井でやったとしても薪とかを集めるのが大変ですね。水子貝塚は、木がいっぱいあって利用しやすいです。</p>
高崎館長	<p>土器焼きは、火の勢いが強いから危ない。水子がいっぱい回りに木があって真ん中は、公園だから出来る。向こうの方が広いので安心出来る。</p>
三上委員長	<p>小学校に展示場をつくるというのが、それが子供たちにとって最初のきっかけなのでその辺を大事にしたいと思います。そこから始まると思います。あと気になったのは、飛脚ですけどもどうなっていますか。</p>
高崎館長	<p>川越街道の映像の前でルームランナーに乗って映像も動かして体験してもらおう。</p>
三上委員長	<p>せっかく本陣もあるのだから大名行列なんかにした方がいいのではないかと、それに飛脚を入れた方がいいのではないかとせっかくあそこに本陣があって大名行列が来ているのだからその方がいいのではないかと。</p>
高崎館長	<p>飛脚があった方がみんなスポーツクラブとかでジョギングとかして走っているのでもいいのではないかと思いました。</p>
三上委員長	<p>先程、エレベーターのことが出たのですが、それは荷物を運ぶ為に使うのか一般の市民も使えるのか、なぜかという身障者に対する配慮も大事にしなければならぬので資料館を立ち上げるにしろ色々配置していくのが普通ではないかと。</p>

高崎館長	おっしゃるとおりで、改修工事で今あるエレベーターの位置を動かすことは出来ないため、そこまで通路で入ってお客さんが使えるようにするという考えで設計を進めて参りたいと思います。
折原委員	水引の会とかが勝手に入って自由に使えるのですか。
高崎館長	一般の人が普通に使えるようにエレベーターまでの廊下を使うようにしたい。
三上委員長	融合と合併はいいのですが、多少、未来に希望を持たせるには、ふじみ野市に住む市民が未来のふじみ野市はよかったなとか多少希望を持たせるというのも大事ではないか。
山本委員	未来に希望を持たせるというのは、中学校の授業でもあります。少し発展的な内容なので教員によって異なりますが、地方自治というのは、調べると地域の学習ということなので中学校でやるのですけれども、国会の内容というのが地方自治、その中でふじみ野市のホームページから予算とかを全部引っ張ってきて、何にどれくらい使うとか本当に発展しているところだったらそれを市議会にもっていくとか、そこまでやるところもある。市レベルだと市民のパブリックコメントや市長の施政方針とかを使って授業をやるところもあって、それによって10年後、20年後、15歳が20年後のふじみ野市を考えてどういうことが必要か、ということが求められるのかということの中学生の授業でもやります。私も一ヵ月後にやろうと思っています。今、国のサイトとかでホームページ上で見られるので、高齢化が進んでいくとか、土壌がどうかとか中学生レベルでも調べられます。根拠のある資料が出てくるのでそれを基に考えて持続可能な社会という今の視点があるにはあります。
三上委員長	ありがとうございました。
橋本副主幹	(その他) ※スクリーンを見せながら新大井郷土資料館と旧大井村役場の説明をした。
三上委員長	今の説明内容について
古川委員	今、見せてもらったのは、新資料館ですか。
橋本副主幹	分かりにくいので情報を整理しますとこの10月いっぱい使い続けるのは、大井図書館といっしょになっている大井郷土資料館です。今、説明したのは旧大井村役場と旧商工会館のところに来る新大井郷土資料館です。先程、館長から説明があったのが今、大井図書館があるところの大井郷土資料館でここにもどって



	きたときにどうリニューアルするかということですからここは、令和5年からしばらくの間使うということになります。
比嘉委員	今、資料を置いてあるだけですか？見学はできますか。
橋本副主幹	ここは、資料をおいてあるだけですが見学は出来ます。ご覧になりたい人がいればそれに応じるといったことはあります。
比嘉委員	展示は、旧役場がやっている。それでは、今までみたいに特別展とかは、しばらくの間はやらないのか。
橋本副主幹	特別展というのは、今年もあります。それは、ステラ・エストそこを使って「徳川家康がやってきた」というのをやります。今後は、ステラ・ウエストを使ってやるのか資料館も組み合わせるのかは課題です。少なくとも令和6年から令和7年は、ステラを使って特別展を展開していきたいと思います。
三上委員長	そのことについては、よろしいですか。 郷土の偉人というか、三澤さんみたいに銀メダルをとった人やNHKで有名になった島田忠さん、どこでこういう有名な人がいるというのを発表するのか資料なんかと一緒に紹介で取り上げもらえないか。
橋本副主幹	県の方で渋沢栄一など3人を取り上げてパネルを貸し出して展示というかたちで星野仙蔵という方を紹介していましたが、市の方では一本化して紹介するということはやってはいません。
三上委員長	資料館でも民間でもいいからどこかでそういうことをできないのか。
高崎館長	常に更新されていく情報ですから映像で出していくのが適しているのかなと思います。パネルで作ってしまうとなかなか更新されなくなってしまう。
古川委員	将来的に大井郷土資料館というのが展示スペースとして旧大井村役場は今のまま展示をおこなっていくのですか。こういうコンセプト、趣旨でやっているというものはあるのですか。大井郷土資料館は、こうであるという違いっていうものはあるのですか。
橋本副主幹	担当レベルで聞いてもらいたいのですが、旧大井村役場のある場所は、昭和12年に建てられた時からずっと変わっていない。川越街道に面したあの場所にあると先程、言った旧大井村役場、川越街道、学校この3つを中心に話をしたいのですが直ぐ隣にある大井小学校、旭学校この場所もずっと明治からある。河岸記念館とかにも言えることなのですが、その場所にあって見せる、つ

	<p>まり現地に立ってその場所の意味だとか存在とかを見ていただける。大井小学校なのですが、壁の色を見てもらうと旧大井村役場に合わせて作っている。学校側の地域とのかかわり合いというものが見えてくる。川越街道の写真を見ても大分、昔とかわかりましたが、村政とか教育とかの中心だったということがあの場に立つことで理解していただくことが出来るのではないかとということが旧役場の展示のメリットではないかと思えます。資料館というのは、そういうものをつつみこんだ形でもっと総合的に色々な展示や体験などを総合的に出来るというのが今後の課題です。総合的というのが新しい資料館の大きな役割になっていくのではないかと思えます。</p>
古川委員	<p>ありがとうございました。</p>
中里委員	<p>資料館の新しいネーミングについては、もう決まったものがありますか。</p>
高崎館長	<p>何も決まっておられません。ネーミングについては、市の方針とか教育委員会の考えを含めてこういうコンセプトだということ考えていきたい。</p>
三上委員長	<p>他に何かありますか。</p>
中里委員	<p>機織り部会がなくなってしまう。</p>
高崎館長	<p>活動する場所をもう少し身近にとれば活動は続けていただけるのでしょうか。</p>
中里委員	<p>この建物と同じぐらいのスペースで縦糸を整経するとか色々な道具類を全部納めるには、ここの半分ぐらいの部屋が必要です。作業するには、この部屋ぐらいあれば機織りが置けるので、それはそれにこしたことはないです。</p>
三上委員長	<p>将来的に中里さんみたいな人が出た場合、（機織り部会は）あった方がいいのか。</p>
中里委員	<p>それは、ここに産業としてあったのだから資料も残っていますから資料もまとめて館長に渡して、数年経ってまたやりたいという人が現れたら、基本だけでもこれをも見れば分かるというビデオを作っておいてもらっています。</p>
三上委員長	<p>資料に残してもらっているのを助かります。 学校側で統一して何かありますか。</p>
山本委員	<p>前回、校長先生が言っていたように100名規模の学年の半</p>

比嘉委員	<p>分、小学校だったら学年とかが収容できればいいと思います。</p> <p>外側の方は、例えば埼玉の博物館みたいに住居跡とか洗濯板とかを置いてこうやってやるのだよとか外側を工夫していいと思います。</p>
高崎館長	<p>検討はしています。</p> <p>設定した資料の方にも縄文時代のように簡易的なテントを使ってそこに柱を立てて上にかぶせて貼って縄文時代のようにすると、そういう場所が出来れば考えたいです。設計で色々な制約も出てくると思いますが、イメージでいうと水子貝塚のように公園があってその中で縄文の生活が再現し実体験できるのが資料館としては理想ですのでなるべくそれに近づけたいと考えております。</p>
三上委員長	<p>次回の会議ですが、皆さんのアイデアを出してもらいたい。</p>
比嘉副委員長	<p>これで、令和5年第2回資料館運営委員会を終了します。</p>